

「防衛省全職員におけるメンタルヘルスの実態調査」のお知らせ

自衛隊員は、自衛隊特有の環境に伴う平時のストレスに加え、有事や災害派遣など業務を通じて惨状に曝され甚大なストレス（惨事ストレス）を受けることから、心の健康（メンタルヘルス）対策の必要性が重要です。メンタルヘルス対策の意義は、東日本大震災における史上最大の派遣でより高く認識された上、一部防衛省事務職員は最前線での業務を担うなど、防衛省全職員の対策が求められています。

これまでの自衛隊では、陸上・海上・航空自衛隊がそれぞれ独自のメンタルヘルス施策を展開し、メンタルヘルス検査を健康診断の一環として定期的に行っていました。しかし、陸・海・空でその方法は異なり、縦断的にその変化を検証するシステムの重要性が唱えられていました。平成25・26・27年度にわたり、内部部局人事教育局衛生監通知により、防衛省全職員を対象としたメンタルヘルス調査が実施されました。

全回答者の集計結果の調査は、防衛医科大学校精神科学講座・防衛医学研究センター行動科学部門が実施しております。解析ならびに今後の公表にあたっては、全体集計結果のみが記され、個人が特定されない形となります。回答後も、もし御自身のデータを研究に使わないでほしい、という御希望があれば以下連絡先までご連絡をくださいますようお願い致します。なお、本研究への使用の拒否の意思を表明されても、いかなる意味においても不利益をこうむることはありません。

【問い合わせ先】

防衛医科大学校 精神科学講座 准教授

重村 淳

〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

電話：04-2995-1211

メールアドレス：shige ア ッ ト ndmc.ac.jp（アットを@に置き換えて下さい）